

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称：しんくら	種別：就労継続支援(A型)	
代表者氏名： 酒井 宣恵 (管理者)	定員(利用人数)： 20 (24) 名	
所在地：倉敷市新倉敷駅前3丁目73-3		
TEL：086-486-2181	ホームページ：http://ww41.tiki.ne.jp/~nozomi1201/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 25年 9月 1日		
経営法人・設置主体(法人名等)： 特定非営利活動法人 のぞみ		
職員数	常勤職員： 9 名	非常勤職員 2 名
専門職員	管理者 1名	(生活支援員) 1名(常勤換算)
	サービス管理責任者 1名	管理栄養士 0名
	(医師：嘱託) 0名、(看護師) 0名	
施設・設備の概要	居室0室 (個室0室・2人部屋0室・4人部屋0室)	事務室、訓練作業室兼多目的室・相談スペース、鉄骨コンクリート造り 2階建の1階部分

③理念・基本方針

○理念

地域を愛する特定非営利活動法人のぞみは、ひとりひとりの豊かな生活の実現を目指します。

○基本方針

生命…健康管理・自己管理が出来る様に支援する
生活…日常生活の見守りの支援をする
社会…地域連携を図り 障がい福祉に寄与する

④施設・事業所の特徴的な取組

施設外就労中心の作業を行っています。工場内での作業や飲料・食品の積み込み・配送作業・木材チップにする為、木材の分別・車部品の組み立てをしています。所内では、車の部品のバリ取り、マーカ付け・お菓子の箱の組み立てや封入などの内職をしています。朝礼を行い、利用者さんの気持ちが上がって、安心・安全に働けるように支援しています。みんなで、協力しあい、助け合う気持ちを大切に、明日も来たいと思える事業所にしたいと、職員一同、支援を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3 年 6 月 2 5 日 (契約日) ~ 令和 4 年 2 月 2 6 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	初回 (令和 3 年度)

⑥総評

◇特に評価が高い点

ひとりひとりの豊かな生活の実現を目指していて、利用者本位の就労に対しての気持ちが前向きである。仕事ぶりも一人一人集中しているからこそ作業効率が2倍に上がるという成果が窺えた。休憩時間も職員が利用者とおしゃべりをするなどして、心を開かせ就労に目覚めさせている表れであろう。

◇改善が求められる点

一人ひとりの力を集め、皆が同じベクトルを向いているのだが、具体的な指示や職員との意向を浸透させれる職員との関係が少しギャップがあるようだ。今少し、一人一人との会話を増やしたり、利用者と同じようにレクリエーションなどの関係を築き、職員一同一丸となって、認め合うことで、さらに向上していく、また、玉島の地で地域密着できる作業所として期待できる施設だ。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を初めてして頂き、新たな視点で様々なご意見、アドバイスを頂きました。今後、職員間で共有し、改善に努めてまいります。福祉サービスの基本に立ち、より良い事業所の運営と利用者様へのサービスの向上に取り組んでまいります。この度は、的確な評価をありがとうございました。

⑧第三者評価結果 (別紙)

(別紙)

障害者・児施設

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a・b・c
<コメント>		
理念は事務所の見えるところやホームページにも掲示している。職員も唱和することで理念が浸透している。利用者や家族に対しても、文面を朗読することで、理念の浸透を図っている。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a・b・c
<コメント>		
本部にて月1回、法人全体の管理者会議を実施している。そこで上がった議題は、事業所内のミーティング時に、職員に報告することで、共有ができています。		
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・○b・c
<コメント>		
経営課題の改善面についての意見は出ているが、勤続年数の長い職員と短い職員とでは温度差があるように感じられる。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>1年間の目標や計画、さらには、作業収入とスキルアップの目標も掲げている。現在は5か年計画を立てて、2027年に達成できるように取り組んでいる。</p>		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>前年度の結果を参考にして目標を立てていることもあり、目標は達成できている。しかし、途中で職員が交代してしまうことがあったので、計画が変更になる事が多く、継続が困難な状態である。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>年間や月の目標を定め、前月に出来なかったことは、次の月に課題としてあげて、目標達成に活かしている。事業計画は、ミーティング等で意見交換をして、評価や見直しに役立っている。</p>		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>利用者には朝礼でわかりやすく伝えている。目標に対しての言葉掛けを行い、「今日も頑張ろう」と背中を押している。指導員の報連相はできていると感じる。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>ミーティングを通してPDCAサイクルを実施している。対応や指導員の困っていることなどの話し合いを行い、改善できるようにしているが、確認までは行えていない。</p>		
I-4-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>ミーティングだけでなく、雑談の中でも提案を聞いている。支援計画書にも記載はしているが、集中できないことを考慮し実施に向けている。目標や計画に対しての文章化が劣っている。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者に対して、何でも相談できる立場として指導している。また、利用者に寄り添う体制も整っている。職務内容は、就業規則の中に明記している。広報誌にも記載していて、何かあれば出向いて対応し、解決している。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>集団指導や研修などに参加し、職員へ伝えている。身近な細かなことまで気を遣って環境整備に取り組んでいる。清掃も行き届いており、ゴミは分別して事業所まで持ち帰るように取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者のリーダーシップは取れている。月1回、本部で開催される管理者会議に参加している。会議の内容は職員ミーティングにて報告し、共有している。管理者は現場に出向き、助言をすることもある。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>個々の提案に耳を傾ける様にし、経営陣と同じベクトルに向かって指導力を発揮している。但し、経営陣の思いを浸透するには時間がかかり、質の向上に構築しにくい点も感じられる。指導員の意向を聞き、管理者は適切な回答を出したいが、経営陣の理想には程遠い。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>人材確保や定着に関しては、計画を持って取り組んでいる。また、管理者もその方向で動いているが、動き方やノウハウ不足のため人材紹介をする対応まで至っていないので、良い結果に結びついていない。</p>		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>人事評価・法人での面談などを行っている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。		a・b・c
<p><コメント></p> <p>家庭の事情・体調・精神状態を把握し、働きやすい環境を常に心がけている。管理者が、職員や利用者にも言葉かけをするようにしている。ただし、経営陣の対応としてみたら、管理者も職員の1人なので、働きやすい職場づくりになるように、会議で議題としてあげてほしい。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>本部の人が、出向いて個別面談を実施している。管理者も同時に個別面談に参加して、職員一人ひとりの良さを引き出しながら、育成の一つとして取り組みがほしい。職員一人ひとりの立場に立って、管理者も職員の一人として、質の向上に努めている。個別面談は、直属の上司も参画したほうが望ましい。</p>		
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>入職時に本部にて新人研修を実施している。事業所では、日々業務の中で実践することが教育に繋がり、また研修も行っている。会議では、虐待防止委員会も兼ねているので、振り返ることができている。</p>		
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>新任の職員については、本部での教育・研修を受けている。虐待防止について動画視聴で研修を実施した。個々の研修は基礎から学べるように配慮して、強制しなくても参加に興味を引くようなテーマで行い、すべての職員が納得できる研修を確保することが望ましいと感じる。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>利用者の実習は受け入れたことがある。取り組みたいと日々考えてはいるが、実習専門指導員がいないのが現状である。インターンシップの実施は行っていない。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>法人と事業所のパンフレットがあり、ホームページでの情報公開も行っている。事業所のパンフレットを作成した際には、健康プラザやハローワーク、高校にも配布した。</p>		

II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>本部の管理者会議にて、売り上げ・分析をしている。前年度の売り上げの書類は倉敷市の広報にて閲覧することができる。個々の職員や利用者の個人管理に関しては、守秘を超えない限りで取り組みを行っている。</p>	

II-4 地域との交流と連携・地域貢献

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員、利用者と一緒に挨拶を行っている。通学路にもなっているので、登下校時に子どもたちへの挨拶をしていることで地域に根付いている。子ども会主催の清掃活動に参加している。過去にグラウンドの清掃に参加したこともある。</p>	
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・○b・c
<p><コメント></p> <p>今後地域との交流の一部として、中学校の職場体験や高校の広報の一環となるよう、貢献できる体制を確立しようとしている。</p>	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>ハローワーク・相談事業所・就業生活支援センターなどと定期的に連絡を取ることで、情報共有を図っている。</p>	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>施設外就労を行う事で、企業の人材不足の解消をなくす事に協力できた。社会福祉分野に限らず、地域の交流が必要な場合は貢献し、反映させている。</p>	

Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>地域の運営推進会議に声がかかり参加したが、定期的な活動としては実施できていない。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>研修などを通して理解力を高めている。今後は職員の研修を定期的実施し、利用者が理解を得て仕事に専念できるような取り組みを図っている。</p>	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>女性は着替えがしやすい様に、カーテンで仕切りをつくりプライバシーに気を遣っている。必要な利用者にはロッカーを設置している。携帯のメールの交換など、利用者間での携帯の利用は控える様に促している。</p>	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>見学や実習の受け入れは積極的に行っている。施設外での作業がほとんどなので、動画を撮ったものを見ながら説明を行うことで、よりイメージしやすくしている。法人パンフレットも一緒に配布している。</p>	
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>契約書などの書類は、口頭でも説明を行っている。家族の方にも見て頂き、わからない事がないかを確認している。一人で意思表示が出来ない利用者については、相談支援員の同行をお願いしている。</p>	

Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>相談支援員・ハローワーク・他の施設・事業所との連携し、情報共有を行っている。研修などを通じて、交流が広がっている。</p>	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス管理者・職員に利用者より声が上がることが多く、出来る事はすぐに対応している。夏場の熱中症対策として、麦茶や塩飴を準備したり、作業用のTシャツの貸し出しも行った。半年に1回作成する支援計画書の中にも利用者の意見を取り入れている。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者・職員より報告があるので、その日に解決できることは解決している。必ず両者の意見を聞いた上で分析して解決している。事業所内で解決出来ない事案については、本部に相談している。</p>	
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>相談室を設置している。利用者は話やすい職員に話しやすいタイミングで話すことが多い。相談や報告を聞いた職員は、管理者へ口頭にて伝えている。ミーティング内で情報を共有することもある。</p>	
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者は話やすい職員や管理者に相談したり、意見を述べたりすることができている。利用者の要望をできるだけ叶えられるようにしている。上記にも記載したが、夏場の熱中症対策として、麦茶や塩飴を準備したり、作業用のTシャツの貸し出しも行ったことがある。</p>	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		○ a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>ヒヤリハットの報告書を提出し、ミーティングや朝礼にて周知している。何が危険かを口頭で伝えるだけでなく、写真に撮ったものを現場の休憩室に貼ることで注意喚起を促している。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		○ a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>インフルエンザや新型コロナウイルス対策を徹底している。また、健康チェックや検温も徹底している。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		○ a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>就労先にて、避難訓練は定期的に行っている。施設外就労については、企業の避難訓練計画を確認し、利用者には避難場所の周知をしている。津波の際の避難場所の経路確認を利用者と一緒に行った。備蓄は事務所に2日分保管している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		○ a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>運営規定・就業規則・重要事項説明書などに明記されている。標準的な実施方法に基づいて実施されているかどうかを確認している。</p>		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		○ a ・ b ・ c
<p><コメント></p> <p>職員会議やミーティングの時に、支援について話合ったり、個別で話を聞いて見直しをしている。定期的には定めていないが、組織的に実施している。また、意見や提案も反映できるような仕組みを築いている。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>6か月に1回、モニタリング・アセスメントを実施して、個別支援計画の立案を行い、利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。計画作成時には、サビ管・職員・支援員が参加している。</p>		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>モニタリング・個別支援計画書の作成を行い、利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示していないときは、見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>作業日報や個人日誌などは、パソコンに記載しているので、職員は共有して閲覧する事が出来ている。</p>		
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>個人情報については、本部で管理する物と事業所での管理する物があるが、カギのかかるロッカーにて保管を行い、必要に応じて開閉を行っている。個人情報漏洩には細心の注意を払っている。鍵は管理者のみが管理しているので安心して任せられる。</p>		

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重		
Ⅳ-1-(1)-①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	○ a · b · c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりの個性を尊重し、意見を聞きながら対応している。事前に情報収集をして、利用者の個人ファイルにて記載している。配慮するところなどに注意している。</p>		

IV-1-(2) 権利侵害の防止等		
IV-1-(2)-①	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>職員会議などで、話し合いを行っている。</p>		

IV-2 生活支援

		第三者評価結果
IV-2-(1) 支援の基本		
IV-2-(1)-①	利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の心身の状況や生活習慣に特に留意し、必要に応じて、家族や相談支援員に連絡をして対応をしている。</p>		
IV-2-(1)-②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>身振りや手振り、筆談にて対応をしている。特に、意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ家族の方と電話や手紙にてやり取りをし、状況を把握した上で、利用者の希望を理解しようとする取り組みを行っている。家族と指導員の交換ノートを作成し、そこで意見を言い合っている。</p>		
IV-2-(1)-③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の様子を見て、適切な言葉かけを行っている。本人から相談を受けた際には、早急に面談を行って対応をしている。職員間で情報の共有を大事にして、支援できるように反映している。</p>		
IV-2-(1)-④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>施設外作業は複数あるので、本人の希望を聞いた上で実習し、判断や決定をしている。休憩時間は、コミュニケーションとして日常会話やおしゃべりや趣味・ゲームの話をして、仕事がより楽しくなるように導いている。</p>		

IV-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>休憩時間や作業終了後のコミュニケーションを大切にしている。今後の課題として、スキルアップを望みたい。</p>	
IV-2-(2) 日常的な生活支援	
IV-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(3) 生活環境	
IV-1-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練	
IV-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援	
IV-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>	

IV-1-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<コメント> 非該当	
IV-2-(6) 社会参加、学習支援	
IV-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 自動車運転免許資格など、利用者の希望に沿った勤務体制にしている。資格取得により社会参加への一助としている。	
IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
IV-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 希望があれば、他の作業所などの見学を提供し、自立した生活が送れるように助言している。また、生活支援員との関係も深く、何でも言える関係ができていて、作業所と合わせて支援に努めている。	
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
IV-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・(b)・c
<コメント> 必要に応じて家族の方と連絡を取り、情報共有をしている。家族からアドバイスを頂く事やケア会議に同伴して頂く事もある。家族との連携を図り、意見を取り入れ、利用者の育成に力を注いでいる。	

IV-3 発達支援

	第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援	
IV-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者一人ひとりの働く力や可能性に気づき、配置転換によって伸びている利用者もいる。そして、働く意欲を存続するために就労支援も行い、新発見の場でも可能性が出てきている。</p>		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>特性に応じた配置をすることで、利用者の取り組み方や意欲・要望に受け入れられるようにしている。利用者の十人十色から一人十色の気持ちを汲み取り、特性や体調に応じて作業内容を考えている。</p>		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>定着支援を行っている。就職後1か月から定期的に企業訪問をして、本人と面談を行って企業と情報を共有している。就職活動については、施設外就労より企業に雇用の促進や企業の見学などの同行を行っている。</p>		